

神経研究所 (NIN)

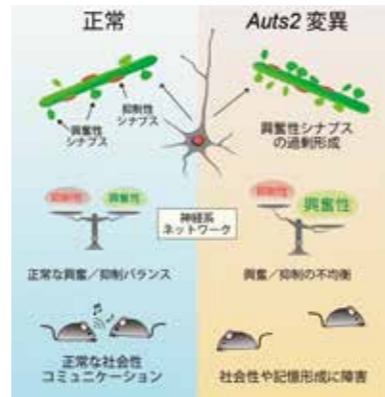
脳神経系発達の分子メカニズムを解明し、  
脳神経系疾患の病態を理解する

病態生化学研究部  
部長 星野 幹雄

National Institute of Neuroscience

私たちの脳・神経系は、数千種類もの多くの遺伝子の働きによって作り上げられると考えられていますが、まだまだ未解明の部分が多いです。病態生化学研究部では、どの遺伝子がどのように働いて、ヒトを含む哺乳類の脳・神経系を作り出すのか、すなわち「脳・神経系形成の遺伝子プログラム」を明らかにすることを目的として、培養細胞、マウス、あるいはヒト検体を使った研究を行っています。また一方で、この遺伝子プログラムがうまく働かないと、それがてんかん、自閉スペクトラム症、統合失調症などの脳神経系の疾患の原因や誘因となると考えられています。そこで、病態生化学研究部では、この遺伝子プログラムの破綻

という観点からこうした疾患の病態を理解し、新たな治療法を開発することも目指しています。最近では、自閉スペクトラム症やてんかんの原因となるAUTS2遺伝子のシナプス形成における役割を解明し、さらにその破綻によるてんかんや自閉スペクトラム症の発症機序の一端を明らかにしました(図)。



自閉スペクトラム症の原因となるAUTS2遺伝子の役割と病態

精神障害をもつ人とその家族のリハビリを支援する

地域精神保健・法制度研究部  
部長 藤井 千代

精神保健研究所 (NIMH)

地域精神保健・法制度研究部では、メンタルヘルスに関する普及啓発や早期介入から触法精神障害者を含む重症精神障害者の地域ケアに至るまで、臨床や政策立案に直結する幅広いテーマに関する研究を行っています。精神障害をもつ人とその家族のリハビリを支援するサービスの開発と評価、メンタルヘルス・リテラシーの向上とスティグマの解消に向けた研究、地域精神保健福祉医療の倫理的課題に関する研究や、精神科救急に関する行政調査など、さまざまな視点からアプローチしています。研究を実施するにあたっては、訪問看護ステーションPORTやNCNP病院の司法精神診療部、国内外の研究機関や医療機

関、さまざまな職能団体等、多くの方々にご協力いただいています。近年、国際的にも医学研究等における患者・市民参画(PPI: Patient and Public Involvement)の重要性が強調されるようになっており、私たちの研究部でも当事者団体や家族会と連携し、より望ましいPPIのあり方を模索中です。



National Institute of Mental Health

# NCNP 診療ニュース

T O P I C S

## 専門外来が新しくなりました

2022.9  
Vol.30



診療科紹介

総合外科部

各部門紹介

臨床研究・  
教育研修部門  
手術部

専門疾病センター紹介

嚥下障害  
リサーチセンター  
薬物依存症  
センター

活動紹介

神経研究所  
精神保健研究所

## 専門外来が新しくなりました



病院長(脳神経内科)  
阿部 康二

2022年1月から新しくパーキンソン病専門外来、SCD/MSA 専門外来、ALS 専門外来、CIDP 専門外来、めまい・しびれ専門外来、腰痛・頭痛外来を開始していますが、少しずつ専門外来受診患者さん数が増えて来ています。また7月からは担当医の数も増やして、ますます診療体制が充実して来ています。これまでの認知症専門外来や免疫性神経疾患、筋疾患外来、てんかん専門外来と合わせて引き続き、外来体制の整備を進めていきます。

また2022年5月2日から運行を始めた無料シャトルバスサービスは、当院とJR新小平駅、当院と西武線萩山駅の2路線をおよそ1時間に2便程度ですが、次第に利用者が増えてきており外来受診者の皆様のお役に立って来ているようです。今後、運行実績を見極めながら、ニーズに合わせて運行本数の増加や車椅子受診の方々への対応なども検討していく予定です。

2021年6月から開始した病院玄関前の花壇は今年も今が花盛りです。外来通院の行き帰りに、少しでも目を楽しませて頂ければ幸いです。

### パーキンソン病専門外来

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
午前	弓削田	阿部院長(脳内) 向井(LCIG療法)	高尾部長(総内)		
午後	向井(姿勢異常)	向井(LCIG療法)	高尾部長(総内)		山本 小田

### 認知症専門外来

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
午前	雑賀(脳内) 高野(精神)		大町(精神) 横井(精神)	塚本(脳内) センター長	坂田(精神) 勝元
午後	高野(精神)	阿部(脳内)院長			

### ALS・SCD/MSA専門外来

	月曜	火曜	水曜	木曜	第1・3金曜
午前			阿部院長(ALS, SCD/MSA) 高尾部長(総内)	高橋部長 (SCD/MSA)	常山(ALS)
午後				高橋部長 (SCD/MSA)	小田(SCD/MSA)

NCNP  
病院  
診療科紹介

## 総合外科部



### NCNP における 総合外科部の取り組み



総合外科部長  
緑川 泰

総合外科部は平成19年4月に発足した外科部門を前身とし、国立精神・神経医療研究センターが独立行政法人化した平成22年に組織改革の一環として外科・整形外科・歯科口腔外科を併合して総合外科部として再編成されました。

当院は精神・神経疾患に特化したセンター病院であるため、当科の役割は他院の外科とは異なり院内発症の疾患に対する処置・手術を中心に行い、精神科・脳神経内科を側面からサポートする役割を担っています。特徴としては嚥下困難や呼吸器関連に対する胃瘻造設・交換、胸腔内トロッカー挿入、気管切開などが、また長期入院・臥床の高齢者に対しては経皮経肝胆道ドレナージや褥瘡処置などのプライマリーケアが多いことです。一方で外科のメンバーはいずれも長年にわたり大学病院やセンター病院で消化器手術を専門に行ってきたため、他院では併存する原疾患のため手術適応外とされる患者さんでも麻酔科の協力を得て手術時間の短縮など、よりコンパクトな手術を心掛け、年間数例ではありますが消化器癌の手術も行っています。一方、歯科口腔外科では入院中の精神・神経疾患及び発達障害を伴う患者さんに対して原疾患による臨床症状に配慮した歯科・口腔外科領域の治療

および予防を行っています。

以上、総合外科の当院における役割を踏まえ、当科では各科の垣根を越えた、科横断的な診療を目指しています。原則として毎週金曜日のカンファランスで外科的処置が必要となる症例の提示を各科の先生方をお願いしていますが、緊急を要する場合はもちろんのこと、待機的な処置・手術が必要となる患者さんのご相談も随時受け付けて対応させていただいています。また、通常健康診断を受けていない患者さんに対してはご希望に応じて無症状でも消化器癌の検診を行うことにより、長期入院を余儀なくされている患者さんにより高いQOLを目指した治療をご提供できるように日々努力してゆきたいと考えています。



# 臨床研究・教育研修部門

NCNP病院  
各部門  
紹介

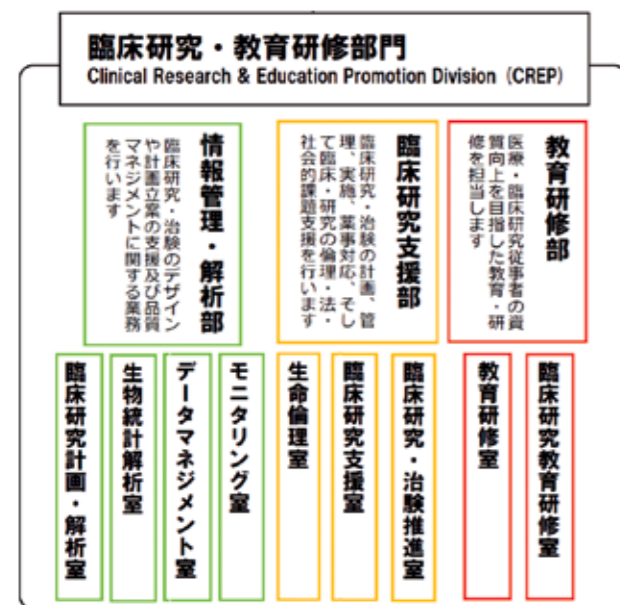
臨床研究・教育研修部門長 小牧 宏文

臨床研究・教育研修部門がNCNPの臨床研究、医療職の教育を推進します



臨床研究を安全、かつ効率的に行っていくには法律や倫理指針に準拠し、医師が中心となり様々な専門職がチームを構成し協調して進める必要があります。

その連携を強めるため病院とは別組織であった臨床研究支援部門が2021年病院に移動しました(表)。また同年に新たに設置された教育研修部の活動によって診療、臨床研究に関わる教育研修機能も徐々に充実してきています。NCNP病院がこれまで以上に患者さんに信頼される病院なるように、また研究によって新しい医療が提供できるようにNCNP病院臨床研究・教育研修部門は今後も活動を進めていきます。



# 手術部

手術室・中央材料室 看護師長 高野 和夫

NCNP病院ならではの手術を提供します



手術室では年間1000件を超える手術が行われています。脳神経外科では難治てんかんに対する焦点切除や脳梁離断、迷走神経刺激装置埋込、電極留置、

パーキンソン病に対する脳深部刺激装置埋込、正常圧水頭症に対するシャント術。患者さんの病状に応じて胃瘻造設、消化管腫瘍切除、イレウスやヘルニア、人工関節置換、腱移行や延長術、骨折や尖足、内反足に対する手術、時には全身麻酔下での歯科治療を行うこともあります。神経筋疾患の診断を目的とした皮膚・筋生検や、耳鼻科との協働による咽頭気管分離や気管切開を行っており、修正型電気けいれん療法を手術室で実施しているのも特徴です。

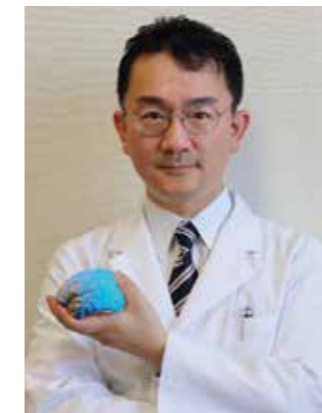
当院は、内科的な治療では制御困難な神経症状や精神症状を軽減したり、肺炎や誤嚥のリスクを減らすなど、患者さんのQOLを高めるための手術に取り組んでいるのが特徴的です。手術の実施についてお考えの際は、外来へご相談ください。



# 嚥下障害リサーチセンター



「withコロナ」時代の嚥下障害リサーチセンター



脳神経内科医長  
嚥下障害リサーチセンター長  
山本 敏之

嚥下障害リサーチセンターは、精神科疾患や脳神経内科疾患の嚥下障害の克服を目的に2017年に設立され、医師、歯科医師、摂食嚥下障害看護認定看護師、言語聴覚士が連携し、積極的に活動してきました。しかし、新型コロナウイルスの流行により、飛沫を伴う嚥下の検査や摂食嚥下リハビリテーションなどが制限されました。

「withコロナ」時代になり、徹底した感染対策をしながら、摂食嚥下の診療を再開したほか、webを使った市民公開講座の開催、医療従事者向けのeラーニングの運用、患者さん向けの刊行物の発刊などの新しい取り組みをはじめました。引き続き、「withコロナ」時代にできる活動を模索し、摂食嚥下分野の診療、および研究に取り組んでいきたいと思ひます。

**専門疾病センター**

NCNP病院には現在12の専門疾病センターがあります。  
診療科や専門分野を超えたチームにより高度専門的医療を行います。

# 薬物依存症センター

薬物依存症センター長  
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長  
松本 俊彦

最新の研究成果を診療に生かし、わが国の薬物依存症治療をリードする

薬物依存症センターでは、総勢30名の多職種スタッフが協働し、薬物依存症の患者さんに対して、以下の3つのことを大切に、治療・支援を提供しています。

第1に、患者さんが安心して正直になれる治療環境作りを心がけています。第2に、患者さんの病状や特

性に応じて、「SMARPP」「リアル生活プログラム」「女性回復プログラム」「個人認知行動療法」「短期入院プログラム FARPP」を組み合わせた、テーラーメイドの治



写真1: 依存症集団療法(SMARPP)、女性回復プログラム、個人認知行動療法のワークブック

写真2: 啓発・支援の普及のための書籍刊行

療を提供しています(写真1)。そして最後に、日々の臨床実践と臨床研究の成果を、治療・支援方法と啓発のために書籍として刊行し、社会全体に還元するように努めております(写真2)。

現在、当センターは、厚労省依存症対策全国センターにおける薬物依存症に関する全国拠点、ならびに東京都の薬物依存症治療拠点として、わが国の薬物依存症治療・支援体制の構築を牽引する役割を担っています。

## 児童精神科外来が開設されました

精神保健研究所 知的・発達障害研究部  
部長 岡田 俊



平素より、子どもの心の診療にご理解とご高配を賜り、ありがとうございます。これまで、精神保健研究所 知的・発達障害研究部からの診療応援として、NCNP病院において発達障害外来として診療にあたって参りましたが、地域や院内における児童精神科の診療ニーズの高まりを踏まえ、2022年4月より児童精神科外来として診療に当たることになりました。

家庭、学校、地域における子どものこころの支持機能は、近年、その脆弱化が指摘されております。COVID-19感染拡大のなかで、潜在的な家族内での課題や社会的に不利な立場に置かれがちな人々が直面する苦境が浮き彫りになる一方、介入を要

する事態の認知は、さらに難しくなっていることが問題となっております。児童精神科外来においては、NCNP病院という専門性の求められる病院機能の一方で、子どもや家族に近接性の担保された医療提供を目指したいと考えております。

医師一名というところからの出発で、児童精神科の病棟もありません。このような制約から、入院や時間外の対応が必要な患者さんをお引き受けできないのは心苦しい限りです。しかしながら、このような体制の中でも担うことのできる役割はあるかと考えております。地域の先生方との病診連携を活発にさせていただきながら、果たすべき使命を全うして参りたいと存じます。また、セカンドオピニオンにつきましても、積極的に提供して参ります。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 無料シャトルバス運行開始



当院では、患者さん・付添ご家族等の通院等における利便性向上のため、令和4年5月より無料シャトルバスの運行を開始いたします。



シャトルバス運行時間

○平日8時20分～16時20分

バス停留所

- NCNP病院:病院外来ロータリー  
タクシー乗り場横
- JR武蔵野線 新小平駅:青梅街道沿い  
都営バス停留所(新小平駅前)前
- 西武鉄道 萩山駅:南口ロータリー前

新小平方面			萩山方面		
	新小平駅発	当院発	当院発	萩山駅発	
8時	20 40	30 50	8時		
9時	00 30	20 50	9時	10 40	15 45
10時	00 30	20 50	10時	10 40	15 45
11時	00 30	20	11時	10	15
12時		50	12時	40	45
13時	00 30	20 50	13時	10 40	15 45
14時	00 30	20 50	14時	10 40	15 45
15時	00	50	15時	10	15
16時	00	20	16時	10	15



## ご存じですか? NCNP 及び NCNP 病院 公式アカウント



[https://twitter.com/NCNP\\_PR](https://twitter.com/NCNP_PR)



ぜひ、フォロー・チャンネル登録をお願いします!!



<https://www.youtube.com/user/NCNPchannel>



<https://www.instagram.com/ncnp.pr/> **NEW!** NCNP公式

[https://www.instagram.com/ncnp\\_hospital/](https://www.instagram.com/ncnp_hospital/) 院長室



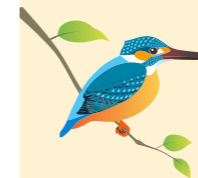
NCNP公式

院長室

## NCNPプレスリリース (<https://www.ncnp.go.jp/topics/>)

- 多様な立場からの「患者・市民参画」に対する見解を分析 - 地域精神保健サービスの研究における「患者・市民参画」の実現に向けて-
- 複雑性PTSD 治療前進へ ~心理療法(STAIR Narrative Therapy)の成果~
- 脳ジストロフィンの欠損で生じる自閉症スペクトラム様の症状は遺伝子治療で改善 - 筋ジストロフィーと自閉症の新たな治療につながる世界初の成果-
- 脳を切らない新しいてんかん外科治療に期待 ~ラジオ波てんかん焦点温熱凝固術~
- 持続的なストレスによって血液脳関門の機能が低下する新たなメカニズムを発見 ~うつ病などのストレス性精神疾患の新たな治療法の開発へ~
- 統合失調症患者における社会認知に関する認識度や主観的困難感を明らかに - 統合失調症治療におけるunmet medical needs-
- 不適切な成育環境が成長後に社会生活上の困難さを生じさせる仕組みを解明 ~マウスモデルで神経回路の異常を発見~
- 国立大学法人信州大学と国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターは 連携・協力に関する協定を締結しました

## Nature



## NCNP四季便り

情報システム顧問 永井 秀明

### イヌタデ(犬蓼)

「蓼食う虫も好き好き」のタデは辛みがあり、刺身のつまにしたり、蓼酢にしてアユの塩焼きのたれにしたりと、重宝されています。

一方、このイヌタデはというと、辛みがないので役立たずと決めつけられ、名前に「イヌ」を付けられてしまいました。

でも、子供たちには「赤まんま」と呼ばれて、役立たずどころかままごとの主役級です。

野草愛好家にも、天ぷらやお浸しにして食べると美味しいと密かに人気だそうです。

